

第3回区長会意見交換会の実施について

1. 第3回意見交換会の実施方針

- (1) 第2回意見交換会で提案された「町内会の脱会を阻止するために市に依頼したい事項」のうち、確認が必要な項目について意見交換を行う。
- (2) 改めて、区長会として市に提案する内容をまとめる。

2. 第2回意見交換会で提案された「市に依頼したい事項」のうち確認が必要な項目

- (1) 各家庭の事情が分からないと会費や使役の減免が決められない。民生委員が持っている情報を共有できるようにしてほしい。
＜論点＞個人情報の共有は難しいが、どこまでの情報が必要か
- (2) 自主防災隊の存在意義を認識する活動をしてほしい。
＜論点＞具体的にどのような活動を想定しているか
- (3) 高齢者に地域で活躍の場を与え、それに対して謝礼が出るしくみを作してほしい。
＜論点＞自治組織の中でそのしくみを作ることはできないか
- (4) 区への市政協力業務委託金を減らしてもいいので、区長だけでなく、副区長や会計や町内会長にも市から報酬を払ってもらえないか。
＜論点＞自治組織の中でそのしくみを作ることはできないか

3. 第2回意見交換会での主な意見

- (1) 前回の意見交換が不十分な項目について、他グループの意見を参考に振り返り
 - ・避難行動要支援者名簿の作成の際、高齢世帯から「町内会がここまで自分のことを考えてくれているのなら、役はできないが、脱会はやめよう」と言ってくれた。
 - ・高齢者だけで住んでいる世帯や、避難経路などを記載した福祉マップを作成している。
 - ・避難行動要支援者名簿の作成にあたっては、町籍簿を毎年更新しているので、それをブラッシュアップして作成していけたらと思っている。
 - ・高齢者が迷惑をかけるからと脱会するケースがある。高齢者はこれまでの貢献度が高いので残ってもらいたい。使役を免除する代わりに現役の役員をサポートする人財として残ってもらうことを考えている。
 - ・自治会の運営をサポートしてくれる有償のボランティア制度を立ち上げたい。
 - ・若い人には、町内会の必要性を伝えることが大切。

- ・ P T Aと連携して行事等を実施。まず仲良くなって、少しずつ関係を作ることが大切。
- ・ 地域のお祭りに、町内会に入っていない若い人の参加を受け入れている。
こういうことをきっかけに加入を促したり、役員を依頼したりしている。
- ・ 区の役員を若い世代から選出するなら、区の用事で電話等が入ったとき、せめて折り返しができるような人を選ぶことが大事。
- ・ 伝統行事等の実施については、神社と笠原校区区長会で会を立ち上げ、各区から拠出金を出してもらうこととし、今後も継続できるようにした。
- ・ 日赤・社資などの協力金が区に振り込まれるが、それを町内に振り分けるのが、大変な作業なので何とかならないか。

（2）町内会の脱会を阻止するために、市に依頼したい事項の提案

- ・ 体育委員、福祉委員、青少年委員などは選出を任意にしてほしい。
- ・ 区や町内会の合併や共同運営について、市が調整役になってほしい。
- ・ 各家庭の事情が分からないと会費や使役の減免が決められない。民生委員が持っている情報を共有できるようにしてほしい。
- ・ 自主防災隊の存在意義を認識する活動をしてほしい。
- ・ 高齢者に地域で活躍の場を与え、それに対し謝礼が出るしくみを作ってほしい。
- ・ 不動産屋への自治会加入促進のアピールは1度きりでなく定期的に行ってほしい
- ・ 転入届の時には加入促進のチラシを渡してくれていると聞いたが、その時に少しでも促すような言葉かけをしてほしい
- ・ 市から建築会社や管理会社に入会を促すよう依頼してほしい。
- ・ 町内会に入らないことでのデメリットをつくれないか
- ・ 区長会の資料を減らしてほしい。
- ・ 区への市政協力委託金を減らしてもいいので区長だけでなく、副区長や会計や町内会長にも市から報酬を払ってもらえないか。

（3）その他

- ・ 夫婦で10年前から生田町の60匹以上の野良猫の去勢をしてきた。保健所で引き取ってもらえない場合は自分で病院へ連れていき、去勢をしてきた。費用は地域の方からの寄付や自己負担で支払っている。60匹のうち40匹以上は里親に引き取ってもらっており、先日は能登から猫を引き取りにきてくれた。その他の区は猫の問題は発生していない。
- ・ 起震車を借りるため募集開始日当日に県に予約の電話をしたが、すでに一杯で断られた。市から県に伝えてほしい。